

『退院後の生活を見据えた支援』 研修会実施報告

日時 : 令和2年6月27日(土) 9:00~16:30

対象者 : 27名

参加者数 : 30名

目的 : 退院調整に関わる看護師が在宅医療移行に向けてケアの視点や他職種・地域との連携を図り、円滑な退院調整が行えるスキルを習得する

<講師の紹介>

医療法人良翔会 訪問看護ステーションみそら

小林千恵子先生

大阪市桃山看護専門学校卒業

済生会奈良病院勤務

訪問看護ステーション勤務

訪問看護ステーションみそら設立

2018年 訪問看護認定看護師取得

2019年 特定行為研修受講

特定看護師としてもご活躍されています



<内容>



はじめに介護保険制度や介護認定、限度額など基本的知識についての講義があり個人ワークを行なうことで実際に患者の退院後の生活をイメージしたプランを考える事が出来ました。

また退院前カンファレンスに必要な患者情報、患者・家族の思いなど理解し参加することの重要性や、その人らしく生活を送るためには院内外の関係者との連携や情報共有が大切である事など、より病院と地域で支えるスタッフとの連携が重要であることが理解ができました。

「最期をどこで迎えるかではなく最期を誰と過ごしたいのかが大切である」という言葉が多くの人々の心に残ったように思います。今回の研修で講師が掲げたテーマである「想像力」を身につけることができ、今後の実践に役立て頑張ってください。